

## 優秀賞

# 目標に向かってチャレンジ

茨城県 石岡市立石岡小学校四年 鯉渕 愛実

私は、学校の行事で、校内持久走記録会に参加しました。

友達と一緒に走りたいという気もちと私に走れるかなという気持ちがあつて、不安でいっぱいでした。なぜかというと、私は生まれつき、のどの病気で呼吸に障害があり、呼吸を助ける器具をのどに付けて生活しているからです。

主治医に相談したら

「走ってもいいよ。応援しているからね。」  
と言ってくれました。

学校の先生に、  
「私、走ります。」

と話したら

「がんばろうね。」

と応援してくれました。

そして、私の目標が決まりました。一ニ  
〇〇メートルを「完走する事」です。「参加する事に意義がある」という精神でがんばろうと思いました。

それから、一ヶ月位、毎日練習が続きました。最初のころは、少し走ってすぐ歩いてのくり返しました。担任の先生や伴走の先生が手のふり方や足の上げ方をアドバイスしてくれました。その走り方を続けると、少し楽に走る事ができました。それでも、「もう走りたくないなあ。」という気持ちがありました。

そんな時、いっしょに走っていた友達が、

「ポン」とせ中を押して

「がんばって、いっしょに走ろう。」

と言ってくれました。私は、友達から、走る勇気とパワーをもらいました。私は、「自

分に負けちゃダメだ。」と思って練習の最後の日までがんばって走りました。

そして、持久走記録会の日がやってきました。私が目標に向かってがんばる日です。不安で不安でたまらなかつたけど、伴走の先生にはげまされながら走りました。とくにゴールした友達が一人で一周おくれで走っている私を大きな声で

「がんばれー。」

と応援してくれました。私は、また、友達から走る勇気とパワーをもらいました。そうして、少し苦しかったけど、先生方や友達に支えられて、一回も歩く事なく、休む事なく見事に完走する事ができました。すごく感動しました。

タイムは、「八分五十七秒」でした。

私は、自分に負けないで完走する事ができてとてもうれしい気持ちになりました。

応援に来てくれたお母さんは、涙を流して「おめでとう」と言ってくれました。私は、もっともつとうれしくなりました。

そして、これまで練習を支えてくれた先生方や、友達に「ありがとう」という感謝の気持ちと目標を達成できたという気持ちで喜びいっぱいになりました。

ハンデを持っていてからこそ、喜びが大きいのかもしれません。

自分に負けないで完走できた事は、私のこれからの人生で大きな一歩をふみ出せた事だと思います。

これからもいろいろんな事にチャレンジしたいと思います。